



# がんば

育友会ホームページ <http://shima3sho.com>

検索は！ 島三小

検索

《第211号》

発行 島原市立第三  
小学校育友会  
編集・印刷 広報部  
DTP 松尾印刷所

## わくわくドキドキの新1年生の入学式

祝にゅうがくおめでとう



1年1組



令和3年4月8日(木)

1年2組



## 職員・保護者・消防団 合同プール清掃

令和3年6月20日(日)



去年はプールが使えず、今年は毎年行う子ども達での掃除では困難なため、先生、PTAそして白山地区の消防団、12・13分団の団員さんの力を借りて、プール清掃をおこないました。  
2年分のよごれは強敵でしたが、皆さんのご努力のおかげで美しく仕上がりました。子ども達も最高の笑顔でプール学習ができました。本当にありがとうございました。



令和3年5月23日(日)

令和3年度運動会が5月23日に行われました。運動会スローガンは「コロナにまけず仲間と協力しパワーを出しきりがんばろう」です。昨年度同様、午前中開催でしたが、スローガン通り中身が凝縮された運動会でした!!



# 特集

7月1日学級部会報告

## いじめ防止に親（家庭）としてできること

### どんな小さないじめも見逃さない連携を

どんな小さな出来事でもその子が「されて嫌だ！」と思えばそれはいじめです。その小さな見逃しがその後取り返しのつかないようないじめに発展します。学校では校長先生を筆頭に先生方全員で小さいじめも全力で解決に取り組まれています。

私たち保護者（家庭）もまかせっきりではありません。いじめを防ぐために家庭にできることはたくさんあります。これは保護者の役目です。7月1日の学級部会では、たくさんの参加をいただき、「いじめ防止に親（家庭）としてできること」をテーマに、熱心な話し合いが行われました。その内容を特集として報告します。是非、ご家族、そして地域で共有・連携していきましょう。

#### 1年1組

- 家に帰ってきた時に、いつもと違う小さな変化にも気付いてあげて、話を聞いてあげる。
- 「もう1年生」ととらえて、自己中心的な態度から周りを見る力や言葉遣いに気をつけさせる。

#### 1年2組

- 直接いじめにつながることは少ないが、将来いじめにつながらないように今から気をつけていく。
- 忙しくても子どもと1対1で話せる時間をなるべく作る。子どもの目を見て接するように心がける。

#### 2年1組

- 「ありがとう」をたくさん言うようになる。相手が「うれしい」と思う言葉を言えるように。
- 親が子どものころされて嫌だったことを伝えるようにしている。

#### 2年2組

- 「友だちのよい所を教えて」と話している。家庭でもぎゅっと抱きしめてあげる。
- 悪いことは悪いときちゃんと伝える。人に注意できるような人になるよう話す。

#### 3年1組

- 1日1回、学校の様子をたずねる。日々の言葉遣いについて話すようにしている。
- 年上・年下との関わりの中で学ぶ機会を作る（年上に助けてもらった経験等を話す）



#### 3年2組

- Iメッセージで子どもに伝える。（あなたがしたことで私はとても悲しいよ）嬉しいことも。
- 親であっても子どもに「ありがとう」や「ごめんなさい」等、感謝の気持ちを投げかける。

#### 4年1組

- ご飯やお風呂で学校での話を聞く。テレビを消して話を聞くようにしている。
- ノーメディアデーを活用し時間を作る。時間ができないときは「手紙」を書いたりする。

#### 4年2組

- 鉛筆が折れていたりしないか注意して見る。
- 学校で友達同士のけんかがあった時等、その時自分の子どもはどうしていたのかを聞いて、ダメなことはダメとはっきりと教える。

#### 5年1組

- 嫌なことがあったら、友だちにも自分の言いたいことをちゃんと言うように伝えている。
- 困ったことがあれば、親に早く相談できるように、普段から子どもの話を受けとめるようにする。

#### 5年2組

- 家庭で過ごす時間が大切。普段から家族が話を聞いてくれる環境をつくる。
- 「人を思いやる気持ち」「自分がされて嫌なことは人にもしない」と教える。

#### 6年1組

- 今日のできごとを聞いて、うまくいっていない時等はアドバイスをしている。
- 自分がされて嫌なことはしない、言わないように伝える。

#### 6年2組

- 男女仲よく遊んでいて、友達同士の仲はよいが、言葉遣いが気になる。「何かあれば先生や親に伝え」と常に話している。
- 1分でもいいから、毎日学校のことを見るように心がける。

#### 愛護 なかよし おひさま

- 子どもの様子から、どうしたらよいか対応する。日頃から相談しやすいように心がける。
- 受け止め方が子どもそれぞれ違うので、気付かないようなことがないように気がけておく。

### 学校支援会議 「白山を愛する会」

#### ■いじめ防止に地域としてできること■

- あいさつや声かけを大人から進んで行い、子どもたちの顔と名前を覚えてつながっていく。
- 子どもの良いところは思い切りほめ、悪いことは叱り、そのことを学校や家庭とも共有する。

たくさんのご参加、本当にありがとうございました。  
話し合いの内容の一部を紹介します。



家庭・地域・学校の力をひとつに、子どもたちを守り育てていきましょう！